

MIST 学会会員の皆様

元日の能登半島地震におきまして、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。そして北陸地方の先生方には大変なご苦勞に心より敬意を表しますとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

このたび最小侵襲脊椎治療学会の副理事長を拝命いたしました川崎医科大学の中西一夫でございます。

稀に見る温暖な正月とはうってかわって、さまざまな天災や事故に見舞われる中、令和6年がスタートいたしました。

MIST 学会におきましては、昨年末の理事会にて石井賢理事長をはじめ 5 人の発起人の先生より提案された理事長交代の議案が承認され、令和6年1月1日より富田卓先生が理事長、中西一夫が副理事長の第3次 MIST 学会が新体制でスタートいたしました。われわれ2名は、MIST 学会 (MIST 研究会) に育てられた、そして発起人の先生の意志を継いだ弟子にあたります。これまで以上に、他の学会とは一線を画した MIST らしい、MIST でしか出来ない、若い世代に相伝していける持続可能な学会を目指していきたいと思っております。誠に僣越ながら、私は富田卓理事長をしっかりとお支えしていきたいと思っております。

そして、今年の6月には第14回最小侵襲脊椎治療学会が倉敷市で開催されます。今回、私が会長を仰せつかったのも何か運命的なものを感じずにはられません。第3次 MIST 学会の船出を象徴するような記憶にも記録にも残るすばらしい学会にするため、鋭意準備を進めております。会員の皆様には All Japan の精神で引き続き学会へのご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、力不足な点もございますが、精進してまいりますので、今後とも変わらずご指導ご鞭撻いただけますと幸いです。何とぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年1月4日

最小侵襲脊椎治療学会 副理事長
第14回最小侵襲脊椎治療学会 会長
川崎医科大学 整形外科
中西一夫 拝